紫の伝説

六の章
島の十字路

古川益三

大根ももってけこら！

もうええわい

しまのじゅうじろを
百メートル程降った
処で協道にそれると

海に面した
崖っぷちに
〝青助〟が
ある

裏で
洗っと
くれな
OK

うわ
氷が張っと
る

ばあちゃ！

わしゃ
あの一郎ん所
の嫁は好かん
ぞ

白菜はまだ
かい

ん
すぐじゃ

コクン

何か
言われた
んかね

なんかなぁ
しつこいんじゃ
今日も大根いらん
言っとるのに

持ってけ
持ってけて
しまいに怒り
よんね
キチガイじゃ

ばあちゃ
落ちる
ぞ

何おがんどん？

雄一の悪いクセがなおりますように

見てみばあちゃ！

青助言う
のは
じっちゃんの
名じゃろが

ん
スパパパ
わし
じっちゃんに
似とるか

一郎ん所の
嫁がそう
言っとった

ギザギザの
絹女も
言っとった

じっちゃんはもてたらしいな
三人で青助の取りあいしてな

雄一は
いくつじゃった
ろな

この冬で
ちょうど
十じゃ

へへえ

完